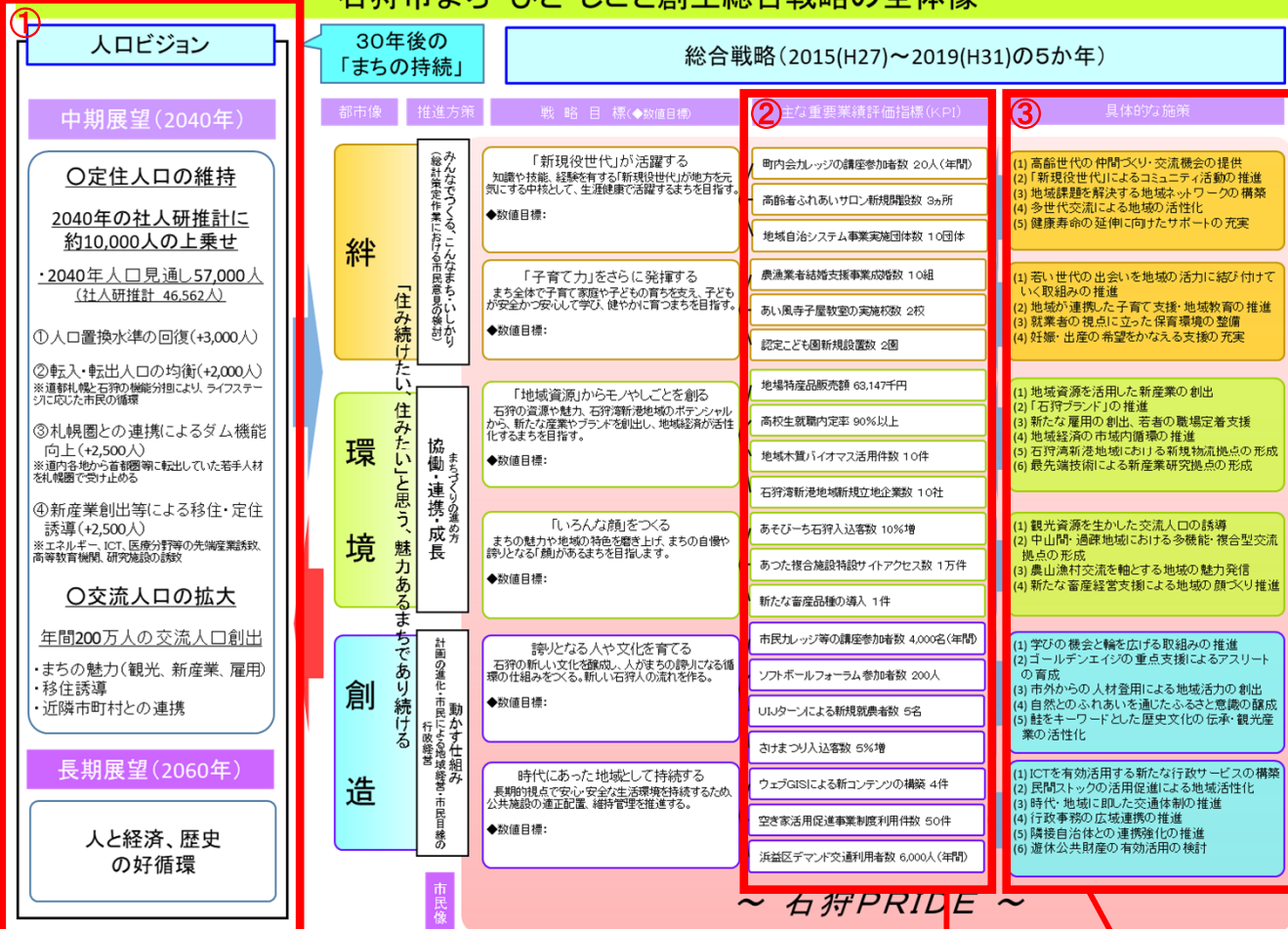


第1期総合戦略の全体像からの変更概要

石狩市まち・ひと・しごと創生総合戦略の全体像



○基本事項

・第2期総合戦略は令和2年度から6年度までの5ヵ年計画とする。

・6つの戦略目標（うち5つが総合計画と基づく目標）や、都市像、市民像は変更しない。

・追加の内容として、持続可能な開発目標（SDGs）の理念を踏まえた地方創生を推進する。（具体的な施策ごとに17の開発目標と紐付けを行い掲載する）

・Society5.0の実現に向けた技術（未来技術）の活用を推進する。（国の動向に合わせ文章のみを記載）

【③具体的な施策】

・基本的に第1期を継承するが、実施や予定の事業に合わせて、追記、修正などを行う。

【具体的な事業】

・R1スタートの新たな地方創生推進交付金事業や、その他の交付金事業など、幅広く今後の予定を含めて更新する。

【①人口ビジョン】

- ・平成27年に策定した総合計画は、概ね30年後（2040年）の未来を見据えており、その年次は変更しない。
- ・推計は最新の国立社会保障人口問題研究所の推計データをベースに、地方創生の取組をはじめとした各種施策の展開による効果などを上乗せする。（人口置換水準の回復、転入・転出口の均衡を考慮）

【②主な重要業績評価指標（KPI）】

- ・基本的には第1期を継承するが、第1期の期間内に完了した事業や事業が中止となったものなどは掲載しない。
- ・これまで事業を実施した中で、KPIが馴染まないものや、実績がないものなどは改善や見直しを行う。
- ・目標が達成され、今後も事業が継続するものはKPIを見直す。